

令和 3 年度予算案 新規、拡充事業

1 ① 新型コロナウイルス感染症関連自殺防止電話事業（13,200 千円）

（1）概要

新型コロナウイルス感染症の影響による県内の自殺者数の急激な増加を受けて、現在、心の健康センター内に設置し、日中相談を受け付けている「こころの電話」の対応時間を拡充する。

（2）事業内容

心の健康センター内に設置している「こころの電話」（平日 9 時半から 17 時）をコロナ禍の緊急的な措置として、時間外（平日 17 時～翌日 9 時半、土日祝日 24 時間）に外部民間相談事業者に電話転送して、相談対応業務時間を拡充する。

2 ① 地域自殺対策ネットワーク構築事業（4,540 千円）

（1）概要

県内の自殺者数の急激な増加を受けて、関係機関への繋ぎ支援を専門に実施する有資格者（精神保健福祉士や保健師等の専門職）を自殺対策推進センターに配置し、対面相談や電話相談等の内容から相談者へ効果的な支援を行う。

（2）事業内容

対面相談や電話相談等の内容から相談者への効果的な支援を行うために、関係機関へ繋ぎ支援等を実施する有資格者（精神保健福祉士や保健師等）をコーディネート役として、自殺対策推進センターに配置し、関係機関をつなぐネットワークの構築、調整を行い、支援体制の強化を図る。また、関係機関から随時相談を受け付けるとともに、ケースごとに適切な関係団体の担当者を集めて、具体的支援に向けたケース会議を定期的を実施することで相談者への継続的なフォローアップ支援を行い、また、関係機関の間での連携強化、全体での情報共有を目的とした連絡会議を実施する。

3 ① 検索連動広告活用事業（2,825 千円）

（1）概要

従来、年間で計 3 ヶ月間実施していた検索連動広告活用事業を通年に拡充して実施する。

（2）事業内容

富山県内において、インターネット検索エンジン（グーグル）で「死にたい」など自殺に関連する語句を検索すると、検索結果画面に、県の自殺対策ホームページ「タッチハート」など各種相談窓口のページにつながる広告が表示され、同サイトに誘導するもの。

4 ④ コロナ禍におけるゲートキーパー養成強化事業（900 千円）

（1）概要

新型コロナウイルス感染症の影響で急増している自殺を防ぐため、従来から勤務問題を理由とした自殺を防止するため実施している県内企業を対象にしたメンタルヘルス対策講座を拡充して実施する。（R2 年：300 千円→R3 年：900 千円、自殺対策計画における評価指標の目標値である 30 回程度開催見込み）

（2）事業内容

県内中小企業、大学等に臨床心理士等の講師を派遣し、メンタルヘルス対策講座、うつ病等の心の健康に関する基本的な知識や適切な対処方法等についての講義を実施し、心の健康不安に対する相談体制の充実を図り、ゲートキーパーを養成すると共に、併せてストレスチェックの実施結果より人事・保健担当者へ対応策等の助言指導を行う。